

■2020年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告総括表（「第2期豊岡市地方創生総合戦略 第2版」）

資料 2

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
------	---

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
------	-------------------------

指 標	基準値 (2019年)	2020年実績値	目標値 (2024年)
人口の社会増減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別人口推計調査1～12月）	△442人	△373人	△388人

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	実績値	目標値
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	○ 豊岡公式ウェブサイト閲覧（セッション）数	831,716件 (2018年度)	1,100,000件	2,117,345件	1,340,000件 (2024年度)
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	○ 豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	118,442件 (2018年度)	134,000件	144,804件	138,000件 (2024年度)
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	○ 新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	未測定	150人	126人	865人増 (5年間)
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	○ 移住組数（窓口相談等利用者）	38組 (2018年度)	40組	74組	224組増 (5年間)
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	○ 豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	41.1% (2018年度)	45.0%	46.4%	60% (2024年度)
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	○ IT企業誘致件数	0件 (2019年度)	1件	1件	5件増 (5年間)
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	○ 創業件数	19件 (2018年度)	22件	25件	110件増 (5年間)
		○ 新規就農者数（青年等就農計画の認定者）	2人 (2019年度)	5人	7人	17人増 (5年間)
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	○ 鞆製造品出荷額	104億円 (2019年調査)	106億円	106億円	116億円 (2024年調査)
		○ 宿泊・鞆産業における若手従業員の新規雇用者（正社員）数	72人 (2018年度)	—	—	300人増 (5年間)
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	○ アーティスト・クリエイター移住者数	5人 (2019年度)	5人	16人	35人増 (5年間)

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	実績値	目標値
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	○ 女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数	0事業所 (2018年度)	0事業所	11事業所	20事業所増 (5年間)
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	○ ファミリサポートセンター会員数	178人 (2018年度)	260人	261人	280人 (2024年度)
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支え合っている	—	—	—	—	—
03-03	ありがたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	○ 子育て中の就労促進事業による就職内定者数	22人 (2018年度)	30人	—	150人増 (5年間)
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	○ 移輸出額	231,268百万円 (2017年度)	230,000百万円	不明 (公表前)	233,473百万円 (2024年度)
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	○ 観光消費額（インバウンド宿泊者）	1,096百万円 (2017年度)	1,752百万円	290百万円	2,502百万円 (2024年度)
		○ 豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	600人 (2019年度)	2,200人	624人	4,300人 (2024年度)
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	○ コウノトリ育むお米輸出総量	17.2トン (2018年度)	24.5トン	22.2トン	60トン (2024年度)
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	○ アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計	1,066人 (2018年度)	1,370人	1,995人	1,970人 (2024年度)
		○ アーティスト・クリエイター移住者数	5人 (2019年度)	5人	16人	35人増 (5年間)
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	○ イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	45人 (2019年度)	48人	—	270人増 (5年間)
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる児童・生徒の割合	小学生63.9% 中学生39.5% (2019年度)	小学生64.9% 中学生40.5%	小学生61.6% 中学生51.4%	小学生68.9% 中学生44.5% (2024年度)
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	○ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合	小学生92.9% 中学生77.1% (2019年度)	小学生93.9% 中学生78.1%	—	小学生97.9% 中学生82.1% (2024年度)
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	○ 自分自身が関わって豊岡をよくしていこうと思う高校生の割合	未測定	50%	35%	70% (2024年度)
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	○ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童・生徒の割合	小学生83.6% 中学生78.8% (2019年度)	小学生84.6% 中学生79.8%	小学生84.9% 中学生85.6%	小学生88.6% 中学生83.8% (2024年度)
		○ 中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	55.3% (2019年度)	60%	58%	70% (2024年度)

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	実績値	目標値
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	○ 婚姻数	282組 (2018年)	283組	秋公表	287組 (2024年)
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	○ 婚活イベントによる成婚数	0組 (2018年度)	1組	1組	5組増 (5年間)
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	○ 出会い機会創出事業による成婚数	8組 (2018年度)	8組	10組	50組増 (5年間)
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	○ ボランティア仲人による成婚数	1組 (2018年度)	4組	6組	23組増 (5年間)
		○ 結婚相談所による成婚数	5組 (2018年度)	7組	4組	42組増 (5年間)